

蔵造りの町並みについて

<http://www.tabi2ikitai.com/japan/j1123a/a01001.html>

大江戸（東京）に対し小江戸と呼ばれる川越、その市街地に蔵造りの建物が並ぶ一角があります。「蔵造りの町並み」といわれる仲町から札の辻までの通り沿いには、それぞれ個性のある 30 数棟の蔵造りの商家が軒を連ねています。



蔵造りは「倉」に用いるのが普通ですが、川越では一般の町家で家全体を土蔵造りにしています。特に黒くて厚い壁、大きな鬼瓦と高い棟、どっしりとした風格のある蔵造りが、これだけ軒を連ね残っているのは他の都市では見られない景観です。また、蔵造り以外にも、近代洋風建築や和風住宅、寺社、そして時の鐘など各時代を代表する多様な建築様式の建物を見学することができます。まるで町そのものが博物館のようです。

江戸の面影をとどめる蔵造りの町は、平成 4 年に電柱・電線の地中埋設工事が完了し、すっきりとした町並みになりました。また、平成 11 年に文化庁の「重要伝統的建造物群保存地区」に指定され、平成 19 年には「美しい日本の歴史的風土 100 選」に選定されました。



蔵造りの町並み

川越には「蔵造りの町並み」が今も残っています。蔵造りは類焼を防ぐための巧妙な耐火建築で、江戸の町家形式として発達したものです。今の東京では見ることのできない江戸の面影をとどめています。

平成 11 年 12 月には国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定され、平成 19 年 1 月には「美しい日本の歴史的風土 100 選」に選定されました。

大沢家住宅

寛政 4 年（1792）に建てられ、呉服太物を商っていた店蔵です。川越町（当時）の 3 分の 1 を焼失した、明治 26 年（1893）の川越大火の際も焼け残り、川越商人に蔵造りを建てさせるきっかけとなった建物の一つです。



「蔵造り資料館」（市指定文化財）

～ 時の鐘 ～ 」（市指定文化財）

時の鐘は、寛永4年から11年（1627年から1634年）の間に川越城主酒井忠勝が、城下多賀町（いまの幸町）に建てたものが最初といわれています。

現在の鐘楼は、明治26年（1893年）に起きた川越大火の翌年に再建されたもの。3層構造で、高さ約16メートル。創建された江戸時代の初期から、暮らしに欠かせない「時」を告げてきた川越のシンボルです。現在、1日に4回（午前6時・正午・午後3時・午後6時）、蔵造りの町並みに 鐘の音を響かせています。



平成8年に、時の鐘は環境庁主催の「残したい“日本の音風景100選”」に選ばれました。

大正浪漫夢通り

古き良き大正時代を思わせる情緒あふれる大正浪漫夢通り。

石畳の通りを歩けば、そこかしこに大正ロマンの風情が漂います。

毎日の買い物から、こだわりの逸品、観光のお土産などを販売する、個性豊かなお店が軒を並べています。



菓子屋横丁

平成13年11月、環境省「かおり風景100選」認定

～懐かしさの中で出会う新鮮な感動～

「菓子屋横丁」では、明治の初めから菓子を製造していました。それが、



関東大震災で被害を受けた東京に代わって駄菓子を製造供給するようになり、昭和初期には 70 軒ほどの業者が軒を連ねていたといわれています。

現在は 20 数軒の店舗が連なり、横丁気分が満喫できます。横丁が醸し出す雰囲気とあめやせんべいなどの下町風の駄菓子は、ノスタルジーを求めるファンを増やし、多くの人を訪れています。

平成 13 年度には、横丁が醸し出す雰囲気と下町風の菓子の懐かしいかおりが漂うということで、環境省の実施した「かおり風景 100 選」に選ばれました。

川越まつり会館



川越市

川越市（かわごえし）は、埼玉県南西部に位置する人口約 35 万人の市である。旧・武蔵国入間郡。東京都特別区部への通勤率は 16.3%（平成 22 年国勢調査）。埼玉県内ではさいたま市、川口市に次ぐ第 3 位の人口を擁する。中核市と業務核都市、保健所政令市に指定されている。【Wikipedia】

市場挨拶

川越市は、都心から 30 km 圏内に位置し、古くから埼玉県南西部地域における産業、経済、文化、観光などの中核都市として発展してきた人口 34 万人の都市です。

大正 11 年（1922 年）に埼玉県内ではじめて市制を施行し、昭和 30 年（1955 年）に周辺の 9 か村を合併し現在の川越市となりました。また、地方分権の先導役として政令指定都市に次ぐ権限を持つ「中核市」へ平成 15 年 4 月に移行し、地域にふさわしいきめの細かい行政サービスを提供しています。

まちを支える産業は、川越駅・本川越駅・川越市駅の 3 駅を中心に栄える商業、首都圏の食料供給地の役割を担う農業、そして市内北部・南西部に展開する工業団地等により県内上位の出荷額を誇る工業がバランスよく発展しています。

また、観光の面でも、蔵造りの町並みや川越まつりなど魅力ある歴史的・文化的遺産が市内のあちこちに残っており、多くの観光客の皆様にも本市を訪れていただいております。